

阿波座駅(地下鉄千日前線・中央線)③

川口外国人居留地を歩く



「大阪あそび歩マップ集」
その3 No.119

地下鉄阿波座駅

〈川口居留地〉安政5年(1858)に米・英・仏・蘭・露の5カ国と江戸幕府の間に修好通商条約が結ばれ、箱館・神奈川・長崎・兵庫・新潟および江戸・大坂の開市が定められました。その後の混乱から開市は開港になり、大阪港は兵庫港と同じ慶応3年(1867)に開港されました。その時、外国人の居留地を限定し、大阪では川口居留地が設置されました。石油ランプの街灯やユーカリの並木、人力車や自転車、洋館や教会が建ち並び、異国情緒にあふれ、ここからパン、牛乳、バター、西洋料理、中華料理がもたらされました。

①大阪府江之子島庁舎跡

大阪府は明治7年(1874)に江之子島に庁舎を建てて西町奉行所庁舎から移転しました。木津川をはさんで外国人居留地を正面に見据えた立地です。新庁舎は高さ30メートルのモダンな西洋建築で、江之子島政府と呼ばれて以後、50年間の府政がここを拠点にしました。

②木津川橋

慶応4年(1868)に架けられた木津川橋を渡った先に川口居留地がありました。明治9年(1876)には鉄橋に架け替えられました。



③大坂船手会所跡

大坂船手会所は、航行する客船・商船を管理・検査・取締する

幕府の役所です。船番所、船蔵、船手屋敷が並んだ大きな施設で、元治元年(1864)まで川口にありましたが、同年、神戸海軍操練所に業務が移されました。



④大阪開港の地・運上所跡

慶応4年、外航船の貿易取締、関税徴収、外交事務を担当する運上所が開港諸都市に置かれました。大阪の運上所では五代友厚が外国館判事としてその任にあたっていました。隣接して川

口波止場が建設され、大阪港がここで開港しました。

⑤天満宮御旅所跡

天神祭の御旅所は鉾流神事によって場所が決まられていましたが、やがてここに定められました。明治になって川口居留地ができたことで移転を余儀なくされ、明治4年(1871)に現在の松島に移りました。

⑥日本聖公会川口基督教会

明治2年(1869)に長崎からやってきた米国聖公会宣教師ウィリアムス主教が英学講義所を開校して、英語による礼拝を始めました。明治14年(1881)教会が設立され、大正9年(1920)に現在の礼拝堂が建設されました。ゴシック風の重厚なデザインが居留地時代の雰囲気を残しています。

地下鉄阿波座駅

